学校番号	213

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	i 版　化学基礎（啓林館）						
副教材等	センサー化学基礎＋化学　4th　Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・原子・分子・イオンなど物質を構成する粒子や化学結合、化学反応などを学び、それらの事物・現象が物質の性質に関係するという考え方を養う。
・生活を支える物質やその適切な使用など、日常生活や社会と関連する内容を理解する。

2　学習の到達目標

＜知識及び技能＞
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。
＜思考力・判断力・表現力等＞
観察、実験を行い、科学的に探究する力を養う。
＜学びに向かう力・人間性等＞
物質とその変化に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。物質とその変化に関する実験、観察などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。また、その過程を振り返り、調整をしようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成	物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表 物質と化学結合	a：単体、純物質、混合物について理解する。原子やイオンの構造と、その結合の様子を理解し、構成される物質の性質の知識を身に付けている。単体、純物質、混合物について理解する。 原子やイオンの構造と、その結合の様子を理解し、構成される物質の性質の知識を身に付けている。 b：原子やイオンの結合の様子について考察し、構成される物質の性質について的確に表現している。 c：原子の構造に関心を持ち、イオン、金属原子、分子が構成する物質について意欲的に探究しようとする。その過程を振り返り、調整しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート
2学期	物質の変化①	物質量と化学反応式 酸と塩基の反応	a：物質量の概念の理解と、化学反応に関与する物質の量的関係について理解し、知識を身に付けている。中和反応の量的関係について実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b：物質量の概念から、反応に関与する物質の量的関係について、考察し、導き出した考えを表現している。 c：酸と塩基の性質に関心を持ち、中和反応について意欲的に探求しようとする。その過程を振り返り、調整しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート

3学期	物質の変化②	酸化と還元	a: 物質量の概念の理解と、化学反応に関与する物質の量的関係について理解し、知識を身に付けている。酸化還元反応の量的関係について実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 物質量の概念から、反応に関与する物質の量的関係について、考察し、導き出した考えを表現している。 c: 酸化と還元の定義に関心を持ち、酸化還元反応について意欲的に探究しようとする。その過程を振り返り、調整しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度